

(様式2)

令和 6 年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1570400752		
法人名	株式会社はあとふるあたご		
事業所名	はあとふるあたごグループホーム三条(2ユニット共通)		
所在地	新潟県三条市石上2-15-1		
自己評価作成日	令和6年11月19日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/15/index.php?action_kouhyou_detail_2014_022_kani=true&JigyosyoCd=1570400752-00&PrefCd=15&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人新潟県介護福祉士会
所在地	新潟県新潟市中央区上所2-2-2
訪問調査日	令和7年1月22日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

出来る限り家庭的な雰囲気を残しながら、毎日が穏やかに安心して過ごせるように配慮している。また、認知症発症前には自由にしていた、調理や外出、入浴なども、可能な限り支援している。グループホームの入居者にだけでなく、地域の認知症の方やその家族等支援者に向け、認知症カフェを開催し地域に専門性を用いて貢献している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○理念に基づく取り組みと地域交流

「はあとふるあたごグループホーム三条」は商業地域と田園地域が隣接する住宅地に立地しており開設22年目を迎えている。公共交通機関も便利で、近くに大型スーパーやドラッグストア、医療機関などもあり、地域の方達とも挨拶できる関係性が築かれている。三条市からの委託事業の「認知症カフェおひさま喫茶」の運営や「共用型デイサービス」等で、常に地域の方々と利用者との交流がある。近くの公民館で開催され利用者也参加している「お茶飲み広場」への外出など、住み慣れた地域の中で利用者の暮らしを一緒に支えている。地域の方達との協力関係が図られており、さりげない見守りや支援などを得ながら連携や交流を深めているのである。

○温もりのある賑やかで楽しい食卓の提供

管理者は日々の暮らしの中で一番大切なこととして食事に拘り食の重要性に力を入れている。事業所はデイサービスの利用者の受け入れもある中で献立は前もって決めておくのではなく、その日その時に利用者の希望を聞き、利用者優先でメニューを決めている。洋食・和食・中華、何でもありで利用者の希望に応じて支援している。最近では洋食の希望も多く、時にステーキ・ピザ・スパゲッティなどさまざまな要望が出るという。メニューが決まると冷蔵庫内の材料やストックされてる材料などで差し繰り、不足な物は買い出しに行きメニューに合わせた汁物と副食を用意している。準備から片付けまで利用者の状態や意欲に合わせて、力の発揮の場として積極的に関わっている。調理された食事は職員と共にテーブルを囲み豊かで賑やかな食卓となって笑い声と会話が終始飛び交い、日々の暮らしを楽しんでいる事業所である。